

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	特になし	●10月から12月にかけて、対馬暖流域の表層の最高水温はやや高めが続いた。 ●この期間、舳作沖及び十三沖でみた対馬暖流の流幅ははなはだ広め～かなり広めで、対馬暖流の勢力はかなり強めに推移した。	特になし	特になし

機関名: 秋田県農林水産技術センター水産振興センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	特になし	●本県南部の底びき網漁場で、春先には黒い綿状の物質が、秋以降は黒いゲル状の物質が網に付着し数回の操業で目詰まりして操業できなくなるといった情報があった。特に水深80～100mの海域で被害が大きいとのことであった。11月10日に調査船の底びき網により採集を試みたが少量のサンプルを得られたものの、原因物質の同定には至っていない。	特になし	特になし

山形県水産試験場

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 新潟県水産海洋研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	●11月中旬から下旬にかけて、佐渡両津湾の定置網でカツオの水揚げが約400本(4～5kgサイズ)あり、この時期の水揚げは過去10年間で例がない。 ●佐渡地区の定置網でブリが好漁。11～12月の大ブリ(3歳魚以上)の漁獲量は652トンで10カ年平均の3.3倍、中ブリ(2歳魚)は83トンで同3.2倍、小ブリ(1歳魚)は333トンで同16.5倍。	特になし	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	●定置網・釣り、9月～12月にかけてケンサキイカが好漁となった。水揚げ量のピークは、例年であれば7・8月であるが、2011年は10・11月にみられた。年間の水揚げ量は189トンで平年の12倍だった。 ●漁場も例年は外浦海域にとどまるところ、内浦海域にまで拡大した。	特になし	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	●10～11月、カマス類が定置網で164トンと過去10年平均(61トン)の2.7倍と好漁。	特になし	特になし	特になし

機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産試験場

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	●沖底で漁獲されているアカガレイについて、投棄サイズ前後(鳥取県では全長20cm未満は再放流としている)の個体が相当量みられるようになっている。そのため、最少銘柄を増やす船も出てきている。 ●境港のまき網は、10、11月にマイワシを約4,500トンと多く水揚げ。11月末現在約28,000トンの水揚げ。20,000トンを超える水揚げは、1999年以来。 ●同じくまき網によりウルメイワシが10、11月に多数水揚げ(両月とも7千トン以上)。秋期の大量水揚げは、1995年以来17年振り。11月末の年間水揚げも15千トンを超え、1万トン以上の水揚げは1997年以来15年振り。 ●11月上旬に美保湾でウキツノガイが発生し、シラス船曳網に混入。	●鳥取県が設置(東・西部)した沿岸潮流観測ブイの試験運用を12月から開始。漁業者に対し電話、メール、FAX、インターネットで情報提供。	特になし	●鳥取県漁協網代港支所所属の沖合底びき網漁船が「あじろがれい」をブランド化(11～2月)。全長30cm以上の漁獲から24時間以内のアカガレイ(メス)。漁獲船名入タグを装着。 ●鳥取県境港水産物地方卸売市場でまき網漁船を対象とした魚体選別装置(2台)の供用を12月より開始。

機関名: 鳥取県栽培漁業センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥根県水産技術センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	●11月の県西部(浜田地区)の中型まき網でのマアジ漁獲量は平年の7.2倍、県東部(西郷地区および浦郷地区)のウルメイワシ漁獲量は平年の8.4倍であった。	●11月の恵曇の水温は、平年に比べ、はなはだ高め(20年に1回の出現確率)であった。	特になし	特になし

機関名: 山口県水産研究センター

	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成23年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし